

うるさい時には
抗議の電話をしよう

厚木爆同

【発行】
厚木基地爆音防止期成同盟
発行責任者 石郷岡 忠男
事務所 大和市桜森3-5-3
フロント1F
TEL 046-240-7450
FAX 046-261-5615
bakudou@kanagawa.email.ne.jp



石郷岡委員長開会挨拶（上）
組織拡大と団結強化がんばろう（下）

憲法改悪阻止！
基地撤去！

第五次爆音訴訟勝利をめざす

「厚木爆同第58回定期代議員総会」

厚木爆同第58回定期代議員総会を5月5日、大和市渋谷学習センターで開催しました。総会では一年間の総括と活動方針を決定。自民党一強におごる安倍政権の憲法改悪に反対するとともに、動き出した第五次爆音訴訟の成功に向け団結し、平和で静かな生活環境を取りもどすため、粘り強く闘い続けることを誓い合いました。

ⅡはじめにⅡ

総会は、定刻の一時に始まり、森謙治副委員長の開会挨拶に続き、執行部を代表して石郷岡忠男委員長が「軍事基地爆音被害を無くすため、基地撤去のたたかいを、今後とも粘り強くたたかう」と決意をのべました。

来賓として、神奈川県平和運動センター・福田護代表、県央共闘会議・国兼久子共同代表、第五次厚木基地爆音訴訟原告団・大波修二団長、社会民主党神奈川県連合・佐々木克己副代表より、連帯と激励の挨拶

Ⅱ議事Ⅱ

議長に、神奈川平和運動センター・福田護代表、県央共闘会議・国兼久子共同代表、第五次厚木基地爆音訴訟原告団・大波修二団長、社会民主党神奈川県連合・佐々木克己副代表より、連帯と激励の挨拶をいただきました。総会議長に中野渡強志代議員（座間支部）を全体の拍手で決定。また、総会執行委員、総会書記など大会役員を選出しました。次に福田一二総会執行委員長より「総会代議員総数68名のうち、出席代議員37名・委任状27名の計64名で総会構成人員を満たしている」との資格審査報告があり、議長が第58回定期総会の成立を宣言しました。

議事に入り、第一号議案「2017年度活動報告と活動総括」、第二号議案「2017年度一般会計・特別会計決算報告」を承認しました。次に第三号議案「2018年度活動方針（案）」の提案。「活動の基調」として、「私たちは戦争をしないことが、爆音被害の解消に向かうこと

と信じて、平和で静かな空を取り戻すため、引き続き仲間と協力し、全力で取り組んでいきます。」と提案されました。

Ⅱ具体的活動Ⅱ

また、「具体的活動」として、①航空機騒音の解消と基地機能の縮小の取り組み、②航空機の墜落防止・部品落下に対する取り組み、③オスプレイ飛来阻止の取り組み、④第五次厚木基地爆音訴訟の取り組み、⑤支部会議の定期開催と会員の拡大、⑥NHK放送受信料全額助成の取り組み、⑦自治体との連携強化、⑧平和憲法の改悪を断じて許さず、反基地・平和運動の取り組み、⑨平和運動関連団体との連帯、⑩専門部と行動企画委員会活動、などの更なる推進が提案され、満場の拍手で活動方針を決定しました。

次に第4号議案「2018年度一般会計予算（案）」が提案され承認。2018年度役員の確認と総会決議の採択をし、最後に石郷岡

委員長のリードで団結がんばろうを三唱し総会を終りました。引き続き、第二部として参加者の皆さんで、恒例の交流会が和やかに開催されました。

第五次厚木基地爆音訴訟 第1回口頭弁論が開かる

横浜地裁

2018年5月21日（月）14時30分より横浜地裁で第五次訴訟の第1回口頭弁論が開かれました。当日は12時30分に横浜地裁近くの横浜公園に原告、弁護団、支援団体など150名以上が集合し、開廷に備えました。集合した原告団は隊列をとり、地裁前まで行進し、門前で事前集会を開きました。その後地裁に入場しましたが、抽選で傍聴者が決められ、抽選に漏れた人は残念ながら報告会場の波止場



5.21 口頭弁論、横浜地裁へ行進

会館で待機となりました。第101号法廷室は満室となり、この裁判にかかる私たち原告団の意気込みが感じられました。14時30分より口



5.21 第1回口頭弁論、横浜地裁前集会

頭弁論が始まり、最初は裁判長から提出書類の確認がされ、その後4人の原告が意見陳述を行いました。実際に騒音地域に暮らし、爆音をいやというほど体験している原告の声、裁判にどう反映されるのか、長年の苦しみ、もう爆音はとめてくれという、子供の将来までこの苦しみを乗り越えようという、原告の声を裁判官、国側はどう聞いたのでしょうか。

横浜地裁での第1回口頭弁論が終わり、裁判所での参加者が報告会場に集結しましたので、会場はいっぱいとなり、すぐ報告集会の開会となりました。司会は大波修二団長が行い、大波団長の報告、福田弁護団長の報告、また、来賓のあいさつの後、原告で陳述した方の感想が話されました。総じて第1回口頭弁論はしっかりと行えたということで、興奮の残る報告集会でした。

（情宣部 山村充夫）

厚木基地の現状と

大和市の取り組み

岩国基地への艦載機の移駐がほぼ完了しました。ネットで山口新聞の情報をみると、この移駐によって、岩国の周辺では、ひどい爆音にさらされているそうです。いっぺんに4機も8機も同時に飛んでいるという話を聞き、基地の「たらい回し」に反対している厚木爆同の会員として心が痛みます。移駐後の厚木基地の運用について、はっきりとした情報がない中で、基地の現状というのも、不透明な部分が多いですが、大和市の対応や厚木爆同も委員として参加している「大和市基地対策協議会」の取り組みもあわせて報告します。防衛省の通告によれば、この

ゴールデンウィーク、5月3日から13日まで硫黄島において離発着訓練を行うという米軍の発表がありました。それだけでなく、なんと5月9日からは、天候によっては厚木基地を使用して訓練を行う可能性があるとのこと。早速大和市長はこの通告があったその日のうちに厚木基地を訪れ、厚木基地で訓練を行わないように申し入れをしました。

ただ、残念なことにその申し入れは無視され、13日までの約束は勝手に延長され、特に15日・16日には厚木基地周辺住民は大変ひどい爆音にさらされました。改めて、移駐後もこの厚木基地は、米軍にとつてとても重要な基地であることが証明されました。実際、基地の「たらい回し」というより厚木基地はそのまま、岩国基地の機能拡大といった方が正確です。

そんな中で、厚木爆同の要望もあって、大和市基地対策協議会では、4月27日に厚木基地の視察がありました。「移駐後の厚木基地の様子を知りたい」と要望したのですが、実際は、自衛隊の安全対策がテーマとなり、厚木基地の様子というより、部品落下や墜落防止のための取り組みの説明と、点検整備の様子を視察しました。移駐後の基地の実態、特に米軍の様子はわからなかったものの、バスで、基地内を移動する間、人ほとんど出会わない状況でした。自衛隊員が2、3人体育館の出入り口で休んでいたくらいで、本当に閑散とした様子でした。移駐が進んでいる実感は持ちました。とにかく広くて、この面積が大和市・綾瀬市に返還されたなら、いろいろな可能性が生まれると感じました。

大和市では、基地返還を方針としています。その目標を受け、基地対策協議会では、毎年夏に防衛省、外務省、総務省に要請活動を行っています。ただ、現実的に考えても、基地の返還が簡単でないことは事実です。綾瀬市では、移駐でいらなくなった米軍の住宅やゴルフ場などの一部返還を求めて取り組んでいます。しかし、厚木基地の大和市域は滑走路や格納庫が主で、一部返還という取り組みは難しい状況です。そこで、まずは、高さ制限の撤廃（滑走路の周辺は高層建築が制限されています。45mの高さ制限は、大和市域の大半を占めています。この事は大和市の街作りの障害や経済的損失につながっています。）、そして、基地交付金の見直し（交付金は、固定資産税に代わる財政補助的な性格とされていることから交付額は市域にかかる基地の面積を基に算定されています。滑走路

《2018年度》 厚木爆同本部役員

役職	氏名	所属支部
委員長	石郷岡 忠男	綾瀬
副委員長	高 久 保	座間
〃	森 謙 治	大和中
〃	日 朝 志 郎	海老名
書記長	荻 窪 幸 一	大和北1
書記次長	矢 澤 洋 二	大和南1
〃	小 林 正 幸	大和北1
総務部長	福 田 一 二	相模原
組織部長	矢 澤 洋 二(兼務)	大和南1
情宣部長	前 田 伸 幸	藤 沢
調査部長	山 本 健 治	町 田
会計(一般)	飯 森 昭 男	大和北1
会計(特別)	齋 藤 孝 幸	大和中
特別執行委員	大 波 修 二	第五次厚木爆音訴訟原告団代表
〃	齊 藤 昌 民	第五次厚木爆音訴訟原告団事務局長
会計監査	山 口 繁 美	大和北2
〃	川 村 政 枝	綾瀬
顧問	浜 崎 重 信	大和北1
〃	中 川 敦 至	大和中
〃	平 岡 幸 雄	海老名

新田原基地訴訟 支援行動報告

にゆうたばる

四月二十七日、宮崎地裁に、新田原基地爆音訴訟が提訴され、厚木から三人が傍聴支援行動に参加しました。

新田原基地は、宮崎市の北隣の新富町の中央台地上にあり、一九四〇年に旧陸軍航空隊基地として開かれ、特攻隊の訓練・出撃基地となりました。敗戦で廃止され、開拓地として民有化されましたが、一九五七年に航空自衛隊の訓練基地となり、八〇年以降は毎年、日米合同訓練が行われるようになり、基地内には米軍宿舎もあります。

訓練基地のため、他基地に比して墜落事故・部品落下、複数機での離着陸やタッチ&ゴーも多く、騒音発生回数は年間一万八二三五回に達しています。

町民人口一万八千の一割、千八百人が自衛隊員という中で爆音訴訟の提起は大変困難だったが、このたび飛行差し止めと損害賠償を求めて一二二名が訴訟し、その訴訟団は全国基地訴訟連絡会議に新加入しました。

支部から こんにちは！

海老名支部

支部長 中坪 清

海老名支部の会員は三十二名ですが、爆同の諸動員への参加数は他支部に負けないと自負しています。それは海老

「毎夏」 平和映画会の開催

名の会員のうちの十数名が実行委員会を作って夏休みの平和映画会を毎年やり、二回の準備会・担当地区での映画会の実行・反省会・新年会と、親睦の機会が多いからだと思っています。この映画会は、厚木基地を人間の輪で包囲した一九八八年に「海老名で何かできないか」と考えて始めたも



はだしのゲン

ので、今年で三十一回目になります。映画は高教組から借りて「ぼたるの墓」「パパママバイバイ」など数本を順繰りに上映しています。今年は中沢啓治の名作「はだしのゲン」を七月二十日・八月二日、海老名市内十二のコミセンや小中学校を巡回上映します。七月には日程もお知らせできます。他支部からのご参加下さい。

(情宣部 森 謙治)

(情宣部 中坪 清)